

歩む会

～Andante～

取材してきました!!

富山初!!
脳性まひの障がいの方と
親御さんたちのコミュニティ



アンダンテ
◎ Andanteとは…? イタリア語で「歩く速さで」という意味です。ゆっくりと一緒に歩いて生きるという意味が込められています。



◎ 歩む会～Andante～代表/社会福祉士

✿ 坪田 佳奈さん ✿

1991年生まれの25歳。675gの超低出生体重児として誕生し、軽度の脳性まひになる。普通学校で小・中・高校と学び、日本福祉大学通信教育部 福祉経営学部 医療福祉マネジメント学科を卒業。社会福祉士となる。5年程前より歩行障害の悪化等、脳性まひの二次障害を発症し、今も向き合っている。

◎ 歩む会を立ち上げたきっかけ

周囲の理解や協力を得て社会に自ら一歩踏み出すことの大変さを実感。脳性まひと向き合っていくにあたり交流の場が必要だと感じるようになり歩む会Andanteを立ち上げた。

◎ 歩む会の活動の3本柱

障がい者の当事者
やご家族同士の
交流スペース
づくり

ブログやホームページ
で日常生活での気付きや
イベントのお知らせなどの
情報発信

障がい者と健常者の
交流の場
づくり

歩む会



第43号
平成28年秋
一般社団法人
富山県作業療法士会
地域リハビリテーション部

障がいをおもちで
地域で暮らす方々
施設利用者、
ご家族に向けて
リハビリテーションの
情報をわかりやすく
お伝えしていきます

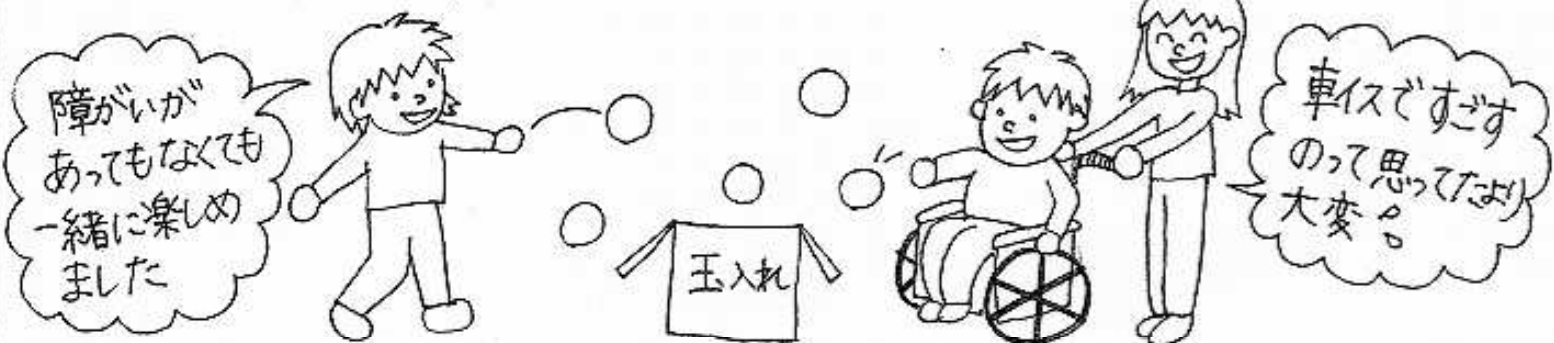
⑥ 坪田さんにインタビューしてきました🎤

Q 具体的にどんな活動をしていますか？

A: 過去に、街歩き、スポーツ大会、障がい者差別解消法の啓発活動、バーベキュー、脳性まひ当事者交流会を行いました。
街歩きでは、みんなで瑞龍寺から新高岡駅まで歩いたのですが、信号機の点滅が早いとか、道がでこぼこしていたり、段差があったりと大きな発見がありました。

実際に私たちも活動に参加させてもらいました!!

H28年9月25日に高岡市ふれあい福祉センターで行われた、
健常者×障がい者ごちゃ混ぜ車イス大会に参加してきました!



Q このきょうと新聞を読むみなさんに伝えたいことはありますか？

A: **当事者の方へ** 社会で生活していくためには、自分の障害をわかってもらう必要があるから、心の扉を開いて困っていることをしっかりとったほうが良い。

リハビリの方へ 専門職の皆さんとの交流もぜひしてみたいです。
以前、ソックスエイドを作ってもらってとても助かった。自助具があるとできることが増え、生活がしやすくなる。皆さんに作ってもらうばかりではなく、当事者からの意見を伝えるなどをして、一緒に何かを作り上げたり活動をしてみたい!!

皆さんへ 障がい者と健常者が一緒に活動することで、お互いの大変さや楽しさもわかり合えると思う。

20年後、脳性まひって何? という人がいないような社会にしていきたいです!!!

⑦ 詳細はブログまたはホームページまで

歩む会 Andante

検索